

7 嵐山郷

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、活動等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、短期入所の受入れやグループホームの運営、療育拠点施設事業、障害者医科・歯科診療等により在宅障害児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況

(人)

施設種別	性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末
福祉型障害児入所施設 (障害者支援施設併設)	男	—	8	3	2	9
	女	—	2	1	0	3
	計	25	10	4	2	12
障害者支援施設	男	—	185	2	5	182
	女	—	135	1	3	133
	計	329	320	3	8	315
医療型障害児入所施設 療養介護事業所	男	—	25	1	2	24
	女	—	30	0	1	29
	計	60	55	1	3	53
計	男	—	218	6	9	215
	女	—	167	2	4	165
	計	414	385	8	13	380

(2) 退所の理由

(人)

施設種別	区分	地域移行	死亡 (病气)	その他	計
福祉型障害児入所施設		1	0	1 (障害者支援施設に移行)	2
障害者支援施設		0	6	2 (入院)	8
医療型障害児入所施設 療養介護事業所		0	2	1 (福祉型障害児入所施設に移行)	3
計		1	8	4	13

(3) 障害支援区分 (区分6及び5の割合) ※児童を除く

令和4年3月31日現在(人)

	区分	男	女	計	割合
障害者支援施設	6	148	122	270	85.7%
	5	27	11	38	12.1%
	計	175	133	308	97.8%
療養介護事業所	6	23	27	50	100%
	5	0	0	0	0%
	計	23	27	50	100%

(4) 通学状況

令和4年3月31日現在(人)

学 校 名	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	計
東松山特別支援学校	11	—	11
熊谷特別支援学校	1	3	4

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

(1) 日中支援の状況 (人)

科目	健康支援活動 (音楽・レク・アロマ等)	リハ支援	造形 (陶芸・タイルモザイク・絵画等)	手工芸	受託加工Ⅰ	受託加工Ⅱ	計
延べ人数	—	906	1,262	323	4,287	5,268	12,046

※健康支援活動は、新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度は中止としている。

(2) 健康管理の状況

ア 外部医療機関への受診状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに定期的に健康診断を実施して、疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。外部通院支援を次のとおり行った。

(件・日)

科目 区分	内科・呼吸器科	外科	整形外科	皮膚科	眼科	婦人科	泌尿器科	脳外科	乳腺外科	精神科	耳鼻科	小児科	消化器外科	計
入院	24	15	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	44
院	657	537	48	0	0	0	0	0	0	0	2	0	53	1,297
通院件数	22	30	29	18	0	2	25	14	3	13	1	5	0	162

イ 看護師の巡回

生活援護部を中心に看護師による寮の巡回を行い、利用者の健康状態把握に努めた。

(3) 短期入所

在宅の障害児(者)のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区分	受入延べ件数	延べ日数
福祉型障害児入所施設	5件	70日
障害者支援施設	13件	171日
医療型障害児入所施設 療養介護事業所	3件	97日
計	21件	338日

※日中一時支援事業(1件 延べ1日)、一時保護(3件 延べ66日)含む。

(4) グループホームの運営

令和4年3月31日現在(人)

名称	定員	利用人数
嵐山ハイム	6	4
やまゆりハイム	16	14
計	22	18

(5) 療育拠点施設事業

研修会及び連絡調整会議を実施して県内の療育等支援事業所に対する支援を行った。

また、施設職員等に対する在宅障害児(者)の療育に関する助言指導として「音楽療法」「アロマトリートメント」「ブラッシング」のDVDを作成し提供した。

事業区分	開催月及び実施回数
研修会	9月動画配信 11月、12月集合型研修(県南、県北で実施)} 3回
連絡調整会議	2回(11月・12月)
療育に関する助言指導	33件(通年)

(6) 医科・歯科診療

ア 医科

障害者一般外来診療を行い、在宅障害児(者)の支援を行った。(人)

診療科目	内科 (小児科)	精神科	耳鼻科	皮膚科	眼科	婦人科	整形外科	計
一般外来延べ人数	253	26	25	12	28	5	3	352
施設内延べ人数	17,065	1,030	125	253	373	107	616	19,569
計	17,318	1,056	150	265	401	112	619	19,921

※ 医療型障害児入所施設、療養介護事業所の診療回数を除く。

イ 歯科

常勤の歯科医師を中心として、歯科医師会等関連機関の協力のもとに、障害児(者)の歯科治療や口腔衛生指導を行い、在宅障害児(者)の治療及び口腔機能の改善に努めた。(人・回)

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実人数		316	252	308	289	229	293	346	312	312	240	210	287	3,394
延べ人数		446	364	463	409	278	399	479	417	392	325	274	386	4,632
内 訳	一般外来延べ人数	220	175	232	205	138	145	202	202	193	175	130	184	2,201
	施設内延べ人数	226	189	231	204	140	254	277	215	199	150	144	202	2,431
全身麻酔治療回数		0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	6
鎮静法治療回数		44	38	56	47	28	47	68	49	37	32	30	38	514
訪問診療・口腔衛生指導		21	21	28	25	0	0	0	28	34	19	0	27	203

(7) 保育所

認可保育所として、乳幼児の多様な保育ニーズに対応した。また、保護者との連携を密にし、園児が健康で心豊かに育ち、それぞれの個性が十分発揮できるよう保育に努めた。

令和4年3月1日現在(人)

年齢区分 性別	定員	現 員							計
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	—	0	7	4	4	4	3	22	
女	—	0	1	5	0	6	8	20	
計	45	0	8	9	4	10	11	42	

(8) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年月	主な行事内容
令和3.9	還暦・成人の祝い
12	年末お楽しみ会

※納涼花火大会・嵐山郷まつりは、開催を中止。クリスマスコンサートは動画を各寮で視聴して実施。

(9) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主な内容
216人	理美容、作品展示

(10) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区分	実人数	延べ日数
保育士実習	10人	60日
計	10人	60日

(11) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
12人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常での利用者との関わりや保護者との懇談会・アンケート、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び保護者の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

- ア エネルギー棟ボイラー設備改修工事
- イ 空調設備等改修工事（8、10、11、12、13、14寮）
- ウ 外部等改修工事
 - ・管理棟、13寮、14寮、エネルギー棟外壁補修等
- エ 児童寮便所改修工事

(2) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもと、年2回総合防災訓練を行った。また、利用者の障害特性に配慮した消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

利用者が陽性となる事態となったが、eMATによるオンライン指導、COVMATによる現地指導などを受け、感染が他寮棟に広がることなく収束を図った。

また、連絡会や会議等の機会を利用して職員間で情報共有し感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況等のチェック

夜間における防犯及び事故防止を徹底するため、管理職が夜間の寮棟を不定期に巡回し、危険箇所及び業務遂行のチェック・指導を実施した。

ウ 「気づきの力」の充実

ヒヤリハット報告を推進し、寮・部単位及び安全管理委員会で分析を行った。また、寮会議や日々の業務引き継ぎ等を通じて情報共有を行い、早期対応に努めた。

エ 職員との面談と教育

各部の管理者が契約職員を含む全職員との個別面談を実施した。

6 職員の育成

各研修の参加・開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。

(1) 外部研修

オンライン形式の研修を中心に参加した。また、本部主催研修にも参加した。

(2) 外部向け研修

埼玉県から事業指定を受け、「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、定員数の制限、換気、消毒等を徹底した。「強度行動障害支援者養成研修（実践）」は予定していた2月の感染状況により中止とした。

県社協と共催で実施してきた「摂食嚥下リハビリテーション研修会」は、令和2年度に続き中止となった。

(3) 施設内研修

「新任・転入職員ガイダンス」「虐待防止・権利擁護研修」「寮長研修」「防犯研修」「腰痛予防研修」を実施した。

8 あすなろ学園

利用者が自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、生産活動等をととして利用者の社会参加を促進した。

1 利用者状況

(1) 利用状況 (人)

性別 \ 区分	定員	前年度末	新規利用者	退 所	年度末
男	—	28	0	0	28
女	—	17	1	0	18
計	50	45	1	0	46

(2) 退所の理由 (人)

性別 \ 区分	他施設利用	その他	計
男	0	0	0
女	0	0	0
計	0	0	0

(3) 障害支援区分 令和4年3月31日現在(人)

区 分	男	女	計	割 合
6	1	1	2	4.3%
5	5	3	8	17.4%
4	10	4	14	30.4%
3	4	4	8	17.4%
2	1	0	1	2.2%
区分なし	7	6	13	28.3%
計	28	18	46	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

(1) 日中支援の状況 (人)

	受託作業		自主生産活動		創作活動・陶芸
	第1作業室	第2作業室	農園芸・EM	さをり・手芸	
男	14	14	17	2	14
女	9	9	3	8	9
計	23	23	20	10	23

(2) 施設外活動及び地域貢献事業

北本市役所内で週に1回生産品等を販売、講談社桶川倉庫でのリサイクル分別作業を週1回、近隣の墓地清掃を月2回程度実施し、利用者の社会参加と就労・自立に向けた支援を行った。
(利用者参加延べ人数)

市役所販売	施設外就労 (桶川講談社)	墓地清掃
57人	75人	96人

(3) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに健康診断・歯科検診及び嘱託医師による定期的な健康相談を実施し、疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

回数	延べ人数
健康相談 12回	487人
健康診断 1回	43人
歯科健診 1回	37人
合 計	567人

(4) 相談支援事業

障害者及び障害児相談支援事業を実施し、在宅の障害者（児）を支援した。

(障害者相談支援事業)

(件)

訪 問	外 来	電 話	計
294	60	560	914

(5) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3. 4	・あすなる会（家族会）との連絡会
5	・小集団外出（東武動物公園） ・茶話会
6	・小集団外出（東武動物公園）2グループ ・イベント給食 ・避難訓練（火災想定）
7	・フードパントリー会場提供 ・小集団外出（鉄道博物館） ・陶芸体験教室 ・西部公民館サマーフェスタ（さをり体験） ・茶話会
8	・健康診断
9	・イベント給食
10	・レクリエーション大会 ・あすなる会（家族会）との連絡会 ・小集団外出（鉄道博物館・ムーミンバレーパーク） ・さをり織り体験
11	・小集団外出（むさしの村・ムーミンバレーパーク） ・小集団外出（さいたま水族館）2グループ ・さをり織り、陶芸体験 ・茶話会 ・防犯研修
12	・小集団外出（ムーミンバレーパーク） ・さをり織り体験 ・「よっちゃん家」さをり織り体験イベント ・イベント給食 ・クリスマス会 ・仕事納めの会
令和4. 1	・仕事始めの会 ・総合防災訓練 ・さをり織り体験 ・茶話会
3	・避難訓練（地震想定） ・イベント給食 ・茶話会 ・花見 ・あすなる会（家族会）との連絡会

(6) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
215人	受託作業やさをり織り等自主生産活動、市役所販売など

(7) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	21人	222日
介護体験実習	1人	5日
計	22人	227日

(8) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
30人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常での利用者との関わりや保護者との連絡会、利用者による当事者活動、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通じて、利用者及び保護者の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもと年1回総合防災訓練を行うとともに、利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 警察署員の協力のもと、不審者対応等の防犯訓練を実施し、緊急時に対応できる体制づくりと職員の防犯意識の向上に努めた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 勤務状況のチェック

園長が現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

連絡会等において情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。また、危機管理委員会を中心に事故報告及びヒヤリハット報告を分析し、事故防止に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 救急法や感染症対策研修、権利擁護・虐待防止研修等の施設内研修を実施した。また、事例検討会の実施や日常的にOJTを推進することで、職員の資質や支援の向上に努めた。

(2) 職員の専門性を高めるため、経験年数等に応じた研修計画のもと、外部機関が主催する研修に積極的に参加した。連絡会や会議等にて研修報告を行うことで、職員間での情報の共有を図った。

9 皆光園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、機能訓練等の日中活動を充実させ、利用者の身体機能の維持・向上を図った。

また、短期入所の受入れやデイサービスの運営、聴能訓練、障害者歯科診療等により在宅障害者児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

区分 性別	定員	前年度末	入所	退所	年度末
男	—	23	2	3	22
女	—	24	0	1	23
計	50	47	2	4	45

(2) 退所の理由 (人)

区分 性別	死亡 (病気)	その他	計
男	2 (病気)	1 (長期入院)	3
女	1 (病気)	0	1
計	3	1	4

(3) 入所者の障害の状況

ア 疾病の状況

令和4年3月31日現在 (人)

疾病	男	女	計	割合
脳性小児マヒ	8	15	23	51.1%
脳血管障害	5	1	6	13.3%
脊髄損傷等	3	1	4	8.9%
進行性筋萎縮症	0	0	0	0.0%
その他	6	6	12	26.7%
計	22	23	45	100.0%

イ 障害支援区分の状況

令和4年3月31日現在 (人)

区分	男	女	計	割合
6	18	21	39	86.7%
5	2	2	4	8.9%
4	2	0	2	4.4%
計	22	23	45	100.0%

ウ 身体障害の等級

令和4年3月31日現在 (人)

等級	男	女	計	割合
1級	16	15	31	68.9%
2級	5	7	12	26.7%
3級	0	0	0	0.0%
5級	0	1	1	2.2%
なし	1	0	1	2.2%
計	22	23	45	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

また、創作活動、個別活動、健康支援や外出行事等を通じて日中支援の充実を図った。

(1) 日中支援の状況 (人)

種目 性別	俳句	七宝焼	民謡	カラ オケ	書道	童謡	花の箱	音楽 活動	延人員	実人員
男	2	1	1	5	1	8	0	7	25	11
女	3	4	6	8	5	8	5	12	51	17
計	5	5	7	13	6	16	5	19	76	28

(2) 機能訓練の状況

利用者の身体機能の維持・向上のために機能訓練を実施した。

対 象	機能訓練(実人数)
入所利用者	40人

(3) 短期入所

在宅の障害児(者)のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	22件	314日

(4) デイサービス

地域の障害者に対して、ニーズの高い機能訓練を中心とした支援を実施した。 (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約人数	24	23	23	23	22	22	21	21	21	21	20	20	261
利用延人数	156	134	164	153	115	116	134	125	132	99	67	96	1,491

(5) 聴能訓練の状況

ア 聴能訓練

就学前の難聴児に対して、日常生活の適応に必要な聴能訓練を実施するとともに、地域の学校等からの依頼に応じ聴力検査、予後指導を実施した。

訓練児童数	訓練延べ人数
25人	1,374人

イ 聴覚障害児支援中核機能モデル事業

埼玉県から事業を受託し、医療、保健、福祉及び教育の各機関の連携強化を図るとともに、難聴児と保護者に対する相談支援を実施した。(相談窓口開設：1月)

電話メール等相談	出張相談	巡回相談
42件	0件	3件

(6) 健康管理の状況

利用者の健康管理については、内科、整形外科及び心療内科の嘱託医師により、日常的な健康管理を行うとともに、定期健康診断を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。 (人)

科目 区分	内科	外科	整形 外科	眼科	耳鼻科	泌尿 器科	心療 内科	その他	計
通院	1,129	39	206	7	2	44	172	285	1,884
内 訳	嘱託医	1,078	0	195	0	0	172	0	1,445
	その他	51	39	11	7	2	44	285	439
入院	8	4	0	0	0	1	0	2	15

(7) 歯科診療

常勤の歯科医師を中心として、県歯科医師会等関連機関の協力のもとに、障害児（者）の歯科治療や口腔衛生指導を行い、在宅障害児（者）の治療及び口腔機能の改善に努めた。

また、利用者の摂食機能の低下に適切に対応するため、専門医による助言・指導を実施した。

(人・回)

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	実人数		163	240	453	383	300	341	352	291	309	319	278	258
延べ人数		202	308	574	501	449	454	458	358	412	406	343	350	4,815
内 訳	外 来	199	292	539	468	435	438	442	343	397	381	323	333	4,590
	入 所	3	16	35	33	14	16	16	15	15	25	20	17	225
全身麻酔治療回数		3	5	8	7	7	6	8	10	10	7	10	4	85
鎮静法治療回数		38	53	58	69	66	58	63	54	54	61	40	53	667

(8) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3.4	日帰り外出（通年） 園外買物（通年）
5	誕生日お楽しみ献立（通年）
6	利用者健康診断
9	皆光園祭
10	総合防災訓練 聴能野外訓練
11	デイサービス出前・テイクアウトランチ会
12	忘年会 聴能クリスマス会
令和4.1	お正月遊び会
2	聴能節分会
3	離任式 聴能修了式

(9) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
143人	園内散策、理美容、除草作業

(10) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
介護福祉士実習	1人	15日
社会福祉士実習	4人	83日
保育士実習	8人	96日
介護体験（教員免許）	2人	10日
言語聴覚士	3人	53日
計	18人	257日

(11) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
41人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常での利用者との関わりや利用者参加の生活委員会、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 施設の整備

花園仮設棟建設工事に着手した。工事の進捗状況を管理するとともに、令和4年9月竣工移転に向け、具体的な移転方法を調整した。

(2) 保守点検の実施

利用者の安全確保と安定したサービス提供及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもと年1回総合防災訓練を行うとともに利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 不審者の侵入対策として、防犯カメラの設置及び警備会社へ直接通報できる携帯型の非常通報装置等を配備し防犯体制の充実を図った。また、警察署員の協力のもと不審者侵入を想定した防犯訓練を実施した。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長の管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況の確認・指導を実施した。

ウ 情報共有と早期の問題点把握

会議や連絡会等における情報交換を密に行うとともに、利用者への聞き取りの内容も活用し、問題点やその兆候の把握に努めた。また、契約職員を含む全職員との個別面談を実施した。

エ 「気づき」の力の醸成と事故防止

ヒヤリハット報告を推進し、支援面や環境面の課題を共有することにより、施設内事故の発生数を減少させた。

6 職員の育成

(1) 支援研修

施設内研修として、全職員を対象に虐待防止・権利擁護研修を実施した。また、夜間急変時シミュレーション訓練や腰痛予防研修、障害特性の理解などテーマを決めて研修を実施し支援に活かした。

さらに、外部研修等へはオンラインを利用した研修に参加し、支援者としての資質・技術の向上及び施設内での水平展開に努めた。

(2) 医療研修

看護師を講師とし、転入職員等を対象に薬の知識・与薬及び感染症対策について研修を行った。

10 そうか光生園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、機能訓練等の日中活動を充実させ、利用者の身体機能の維持・向上を図った。

また、短期入所の受入れや地域活動支援センターの運営、聴能訓練、相談支援事業、障害者歯科診療等により在宅障害児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

区分 性別	定員	前年度末	入所	退所	年度末
男	—	29	2	3	28
女	—	20	2	0	22
計	50	49	4	3	50

(2) 退所の理由 (人)

区分 性別	死亡(病気)	その他	計
男	0	3 (特養移行・GH移行・長期入院)	3
女	0	0	0
計	0	3	3

(3) 入所者の障害の状況

ア 疾病の状況

令和4年3月31日現在 (人)

区分 疾病	男	女	計	割合
脳性小児マヒ	13	10	23	46.0%
脳血管障害	3	4	7	14.0%
頭部外傷	4	1	5	10.0%
小脳変性症	0	2	2	4.0%
脊髄損傷等	1	0	1	2.0%
その他	7	5	12	24.0%
計	28	22	50	100.0%

イ 障害支援区分の状況

令和4年3月31日現在 (人)

区分	男	女	計	割合
6	19	17	36	72.0%
5	9	5	14	28.0%
4	0	0	0	0.0%
計	28	22	50	100.0%

ウ 身体障害の等級

令和4年3月31日現在 (人)

等級	男	女	計	割合
1級	21	17	38	76.0%
2級	6	4	10	20.0%
3級	1	0	1	2.0%
4級	0	1	1	2.0%
計	28	22	50	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定するとともに、利用者がその人らしい生活と社会活動への参加ができるような支援に努めた。

(1) 日中支援の状況 (人)

種目 性別	オセロ 将棋	ソング	書道	つくる	スポーツ	延人員	実人員
男	7	12	5	5	8	37	21
女	9	11	6	8	8	42	14
計	16	23	11	13	16	79	35

※その他に、生け花等の活動を実施した。(参加者は随時)

(2) 機能訓練の状況

利用者の身体機能の維持・向上のために機能訓練を実施した。

対 象	機能訓練(実人数)
入所利用者	50人

(3) 短期入所

在宅の障害児(者)のニーズに応えるため、短期入所を積極的に受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	97件	257日

(4) 地域活動支援センター

在宅障害者を対象に創作活動、社会適応訓練等の支援を提供した。

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約人数	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	127
利用延人数	38	26	35	31	30	37	39	35	42	36	23	36	408

(5) 聴能訓練の状況

ア 聴能訓練

就学前の難聴児に対して、日常生活の適応に必要な聴能訓練を実施するとともに、地域の学校等からの依頼に応じ聴力検査、予後指導を実施した。

訓練児童数	訓練延べ人数
56人	1,772人

イ 聴覚障害児支援中核機能モデル事業

埼玉県から事業を受託し、医療、保健、福祉及び教育の各機関の連携強化を図るとともに、難聴児と保護者に対する相談支援を実施した。(相談窓口開設：1月)

電話メール等相談	出張相談	巡回相談
180件	2件	11件

(6) 相談支援事業

障害者相談支援事業及び障害児等療育支援事業を実施し、在宅の障害児(者)を支援した。

ア 障害者相談支援事業 (件)

訪 問	外 来	電 話	計
551	68	4,537	5,156

イ 障害児等療育支援事業 (件)

在宅支援訪問療育等指導	在宅支援外来療育等指導	施設支援一般指導	計
226	3	125	354

※他に、障害児発達支援巡回事業を幼稚園対象に、延べ29回実施。

(7) 健康管理の状況

利用者の健康管理については、内科、整形外科及び心療内科の嘱託医師により、日常的な健康管理を行うとともに、定期健康診断を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。(人)

科目		内科	外科	整形外科	眼科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	その他	計
区分	通院	1,595	11	99	14	37	42	63	29	1,890
内訳	嘱託医	1,494	0	89	0	0	0	63	0	1,646
	その他	101	11	10	14	37	42	0	29	244
入院		5	0	0	0	0	2	0	2	9

(8) 歯科診療

常勤の歯科医師を中心として、県歯科医師会等関連機関の協力のもとに、障害児(者)の歯科治療や口腔衛生指導を行い、在宅障害児(者)の治療及び口腔機能の改善に努めた。

また利用者の摂食機能の低下に適切に対応するため、歯科医師による助言・指導を実施した。(人・回)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分	実人数	140	128	156	151	157	150	149	155	176	136	122	155	1,775
延べ人数		168	147	171	222	179	223	167	203	217	158	135	180	2,170
内訳	外来	157	133	159	215	168	162	157	188	209	142	125	169	1,984
	入所	11	14	12	7	11	61	10	15	8	16	10	11	186
全身麻酔治療回数		3	4	4	3	5	4	5	7	3	3	1	2	44
鎮静法治療回数		13	20	34	38	40	33	34	44	35	45	21	24	381

(9) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し実施。

年月	主な行事内容
令和3. 4	新規・転入職員交流会
5	日帰り外出(花田苑、健康福祉村)
6	日帰り外出(越谷展望台、久伊豆神社)、バイキング
7	日帰り外出(越谷展望台、久伊豆神社、)、ICT活用バーチャル外出(朝顔市)
8	夏のレク大会、バイキング、オセロ将棋トランプ大会開会式
9	日帰り外出(久伊豆神社、川ログリーンセンター、越谷展望台)
10	秋まつり、日帰り外出(花田苑、大崎公園)
11	日帰り外出(越谷展望台、岩槻人形博物館)
12	年忘れの会、聴能児童クリスマス会、日帰り外出(展望台)
令和4. 1	ボランティアによるリモートマジックショー
3	バイキング、オセロ将棋トランプ大会閉会式、聴能訓練児修了式

(10) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主な内容
74人	環境美化、理美容、行事補助等

(11) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区分	実人数	延べ日数
社会・介護福祉士等実習	50人	588日
言語聴覚士実習	3人	54日
計	53人	642日

(12) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
134人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常での利用者との関わりや家族との連絡会、利用者満足度調査、食事の嗜好調査、意見箱の設置等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもとに防災訓練を行うとともに、利用者の障害特性を考慮の上、避難誘導訓練、消火訓練、災害伝言ダイヤルを活用した夜間連絡訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 不審者対応等の防犯研修を実施し、職員の防犯意識の向上に努めた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜勤者リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

事故防止を図るため、ヒヤリハット事案の報告と改善に、施設をあげて積極的に取り組んだ。また、園内講師により「気づき」の研修として「KYT 危険予知トレーニング研修」を実施し、事故防止に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長及び副園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施するとともに、虐待防止委員会を設置・開催した。

6 職員の育成

(1) 施設内研修

支援の向上のため、「車いす・装具、看護・介護技術」及び「接遇」等の研修により知識を深めるとともに、虐待防止・権利擁護については外部講師を招き、全職員対象に講義を行った。また、虐待防止に関する園内研修を実施するとともに、外部研修も積極的に受講した。

利用者の高齢化への対応については、嘱託医による講義研修を行ったほか、摂食・嚥下相談の一環として歯科医師による嚥下のメカニズムや注意点などに関する研修を開催した。

(2) 施設外研修

埼玉県総合リハビリテーションセンターや埼玉県社会福祉協議会などが主催する各テーマ別研修に各職員の経験年数やスキルに合わせて派遣した。「虐待防止・権利擁護研修」「高次脳機能障害に関する研修」「接遇研修」「法律の基礎研修」など、現在の施設の現状に合わせた研修内容に適材適所に派遣し、人材育成に努めた。

また、感染防止のため、動画配信やオンラインによる双方向研修など、ICTを活用した研修も多く取り入れた。

1 1 あさか向陽園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、生産活動等を通し利用者の社会参加を推進した。

また、短期入所の受入れや障害者歯科診療等により在宅障害児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況

(人)

障害福祉サービス種別		定員	性別	前年度末	入 所	退 所	年度末	
生活介護・施設入所支援		40	男	28	3	3	28	
			女	7	2	0	9	
			計	35	5	3	37	
就労継続支援B型	身体障害	40	男	8	0	1	7	
			女	3	0	1	2	
			計	11	0	2	9	
	知的障害	40	男	15	0	1	14	
			女	5	0	0	5	
			計	20	0	1	19	
	精神障害	40	男	0	0	0	0	
			女	4	0	0	4	
			計	4	0	0	4	
	計		40	男	23	0	2	21
				女	12	0	1	11
				計	35	0	3	32
合計	80	男	51	3	5	49		
		女	19	2	1	20		
		計	70	5	6	69		

(2) 退所の理由

(人)

種別	区分	死亡(病気)	その他	計
生活介護・施設入所支援		1	2 (他施設移行・高齢者施設等)	3
就労継続支援B型		0	3 (他施設移行・施設入所切替2)	3
計		1	5	6

(3) 利用者の疾病の状況

令和4年3月31日現在 (人)

疾病		区分	男	女	計	割合
入所	脳血管障害		10	2	12	32.5%
	脳性マヒ		6	2	8	21.6%
	脊髄損傷		1	0	1	2.7%
	頭部外傷等		4	0	4	10.8%
	脳性小児マヒ		1	1	2	5.4%
	その他		6	4	10	27.0%
	計		28	9	37	100.0%
通所	脳血管障害		2	0	2	15.4%
	脳性マヒ		1	1	2	15.4%
	頭部外傷等		1	0	1	7.7%
	その他		3	5	8	61.5%
	計		7	6	13	100.0%

(4) 利用者の障害の状況

ア 入所利用者

(ア) 障害支援区分の状況

令和4年3月31日現在(人)

区分	男	女	計	割合
6	3	0	3	8.1%
5	10	2	12	32.4%
4	13	6	19	51.4%
3	2	1	3	8.1%
計	28	9	37	100.0%

(イ) 身体障害の等級

令和4年3月31日現在(人)

等級	男	女	計	割合
1級	7	2	9	24.4%
2級	12	3	15	40.5%
3級	4	0	4	10.8%
4級以下	2	3	5	13.5%
級なし	3	1	4	10.8%
計	28	9	37	100.0%

(ウ) 療育手帳の区分

令和4年3月31日現在(人)

区分	男	女	計	割合
A	0	1	1	16.7%
B	1	0	1	16.7%
C	2	2	4	66.6%
計	3	3	6	100.0%

イ 通所利用者

(ア) 身体障害の等級

令和4年3月31日現在(人)

等級	男	女	計	割合
1級	3	1	4	30.7%
2級	1	2	3	23.1%
3級	1	1	2	15.4%
4級以下	1	0	1	7.7%
等級なし	1	2	3	23.1%
計	7	6	13	100.0%

(イ) 療育手帳の区分

令和4年3月31日現在(人)

区分	男	女	計	割合
A	1	2	3	15.8%
B	9	2	11	57.9%
C	4	1	5	26.3%
計	14	5	19	100.0%

(ウ) 精神障害の等級

令和4年3月31日現在(人)

等級	男	女	計	割合
1級	0	0	0	0.0%
2級	1	1	2	40.0%
3級	0	2	2	40.0%
なし	0	1	1	20.0%
計	1	4	5	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

(1) 日中支援の状況(入所利用者と通所利用者の合計)

(人)

科目 性別	プリント (印刷科)	フリーメイト (加工科)	キャロット (知的加工科)	計
男	6	31	14	51
女	1	12	5	18
計	7	43	19	69

(2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	96件	848日

(3) 健康管理の状況

利用者の健康管理については、内科、整形外科及び心療内科等の嘱託医師との連携により、日常的な健康管理を行うとともに、定期健康診断やインフルエンザ予防接種、機能維持トレーニング、摂食嚥下アセスメント及び専門医による指導・助言の機会の設定等を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(人)

区分	科目	内科	外科	整形 外科	脳 外科	眼科	口腔 外科	泌尿 器科	精神科・ 心療内科	皮膚・ 耳鼻科	計
		通 院	418	19	150	17	5	15	24	198	38
内 訳	嘱託医	363	0	143	0	0	0	0	177	0	683
	その他	55	19	7	17	5	15	24	21	38	201
入 院		14	0	1	0	0	0	0	0	0	15

(4) 歯科診療

常勤の歯科医師を中心として、県及び郡市歯科医師会等関連機関の協力のもとに、障害児（者）の歯科治療や口腔衛生指導を行い、在宅障害児（者）の治療及び口腔機能の改善に努めた。

(人・回)

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		実人数	190	145	224	184	180	199	186	196	178	146	154	210
延べ人数		219	158	246	215	214	237	215	223	201	155	189	246	2,518
内 訳	外 来	193	146	219	195	192	209	194	197	171	136	162	221	2,235
	入 所	26	12	27	20	22	28	21	26	30	19	27	25	283
全身麻酔治療回数		0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	5
鎮静法治療回数		46	36	55	38	36	37	40	41	49	33	35	47	493

(5) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3.4	対面式
5	園内レク大会（就労B） 園内消毒
6	防災訓練 新型コロナウイルスワクチン接種（1回目、2回目）開始
7	利用者健康診断 利用者との話し合い 災害伝言ダイヤル
8	夏季大掃除 朝霞市ボランティア体験受入れ
9	防災訓練（夜間想定） 福祉サービス第三者評価実施
10	向陽祭（レク大会） 園内消毒 市役所販売
11	インフルエンザ予防接種 救命救急講習（消防署対応）
12	利用者との話し合い 冬季大掃除 総合防災訓練、 交流センター地域支援事業受入れ
令和4.1	救命救急訓練 防犯研修
2	利用者健康診断 防災訓練 新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）開始
3	災害伝言ダイヤル

(6) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
584人	作業補助、環境美化、植栽、行事開催等

(7) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	47人	412日
歯科衛生士実習	26人	26日
計	73人	438日

- (8) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
26人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常での利用者との関わりや定期の個別面談、意見箱の設置、利用者との話し合い、家族連絡会、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。また、感染症予防、食事と栄養、身体機能の維持等に関する利用者向け研修を開催し、個別の状況に応じた相談受付や健康増進への取組みを進めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

- (1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保と事故防止に万全を期した。

- (2) 消防署の指導のもと年1回総合防災訓練を行うとともに、利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

- (3) 防犯対策として、朝霞警察署員による防犯研修を実施し、さす又・防犯スプレー等の配備と夜間の施錠管理を徹底するとともに、日々の発信等を重視しながら職員の防犯意識の向上に努めた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画(BCP)を作成し、職員に周知するとともに感染症対策に特化した研修や保健所による対策状況のチェックなどの取組みを実施した。

イ 勤務状況のチェック

園長、副園長による巡回及び夜間リーダーによる夜間巡回を行い、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」と改善

支援担当会議や危機管理委員会等における情報交換を綿密に行うとともに、朝の連絡会や部署ごとの打合せなどの機会を利用し、職員全員で問題点やその兆候の把握と改善に努めた。

また、「ヒヤリハット」の収集・分析を通じて発生予防策を講じ、事故防止に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長、副園長による個別面談を実施したほか、「障害者虐待防止チェックリスト」等によるセルフチェックを実施し、その結果について職員会議などで振り返りを行った。また、施設内全体研修を定期的に行い、職員の資質向上を図ることで良質なサービスの提供に努めた。

6 職員の育成

(1) 権利擁護研修

虐待防止・権利擁護に関するWeb研修への参加や施設内研修等を行い、支援者としての資質・意識の向上に努めた。

(2) 感染症研修

新型コロナウイルス感染症をはじめとしたインフルエンザやノロウイルスの感染症対策に関する研修等を通じて、正しい理解と対応方法を徹底した。

(3) 救命救急講習会

朝霞消防署から職員の派遣を受け救命救急講習を企画し、心肺蘇生法及びAEDの使用法、窒息時の対応方法等の訓練を実施した。

1 2 障害者交流センター

各種文化・スポーツ教室等の開催及び障害者スポーツ指導員やボランティアの養成に努めるとともに、地域支援事業として、文化・スポーツプログラムを県内各地で実施した。

また、福祉体験講座やレクリエーション指導を行い、福祉意識の啓発と福祉活動への参加を促進した。

1 利用者状況

(1) 利用状況

(人)

		延べ利用者数	うち障害者数 (比率)
施設利用	スポーツ施設 (体育館、プール等)	44,388	36,582 (82.4%)
	文化施設 (音楽室、調理研修室等)	27,881	13,403 (48.1%)
	計	72,269 (障害者 49,985 (69.2%) (介護者等 22,284 (30.8%))	

		延べ参加者数	うち障害者数 (比率)
事業関係	相談事業	62	32 (51.6%)
	啓発事業	1,926	125 (6.5%)
	スポーツ事業	1,627	592 (36.4%)
	文化・芸術事業	1,799	1,002 (55.7%)
	交流事業	0	0 (0.0%)
	計	5,414 (障害者 1,751 (32.3%) (介護者等 3,663 (67.7%))	

合計 (施設利用 + 事業関係)	77,683 (障害者 51,736 (66.6%) (介護者等 25,947 (33.4%))
------------------	--

(2) 年齢別利用証交付状況

(人)

区分 年齢別	男	女	計
0歳～9歳	35	18	53
10歳～19歳	74	39	113
20歳～29歳	24	12	36
30歳～39歳	14	17	31
40歳～49歳	18	7	25
50歳～59歳	28	13	41
60歳以上	13	15	28
計	206	121	327

(3) 送迎バス利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	2,659	2,550	2,439	3,141	2,237	2,355	3,294	3,787	3,529	2,566	2,312	3,174	34,043

2 利用者支援

(1) スポーツ事業

主な事業	種目・内容	延参加者数(人)
スポーツ大会・フェスティバル	アーチェリー大会・水泳大会・卓球(サウンドテーブルテニス)・サッカーフェスティバル	506
健康増進日常プログラム	体育館・屋外種目・プール(計18回)	121
健康増進みんなでスポーツ	テニス・卓球・バドミントン(計26回)	111
スポーツプログラム他	アーチェリー認定会(計11回)	39
養成事業	県委託(計12校)	466
地域支援	5地域(9回)	157
個人対応	体育館(661人) 屋外(510人)	1,171

(2) 文化・芸術事業

主な事業	種目・内容	延参加者数(人)
文化教室	料理・蕎麦打ち等(55回)	809
パソコン教室	視覚障害、その他障害向け(9回)	97
ホール等での催し	寄席・映画鑑賞会・ミニコンサート等(16回)	562
おもちゃ図書館事業	おもちゃ図書館連絡会交流会等(実績なし)	0
ボランティア養成講座	朗読ボラ・パソコンボラ・デイズー等講座等(11回)	89
地域支援	創作活動 <(6)イ掲載>	242

(3) 相談事業

主な事業	内容	延参加者数(人)
医事相談	医師による相談・助言等(2回)	11
リハビリ相談	理学療法士による相談・助言等(10回)	24
その他の相談	福祉用具等に関する相談、おもちゃ病院(11回)	27

(4) 啓発事業

主な事業	対象	延参加者数(人)
福祉体験学習等	社会体験学習(5校)	82
総合学習	小学校、中学校(15校)	1,758
施設見学受入れ	障害者団体・一般	3

(5) 初級障害者スポーツ指導員養成講習会

さいたま市で開催し、計26人に修了証を交付した。

(6) 地域支援事業

障害のある人が身近な地域で文化・スポーツなどの社会活動に参加できる環境を段階的に整備することを目的に実施した。スポーツ分野では、5地域計9回(さいたま市3回、蕨市1回・吉見町3回、春日部市1回、越谷市1回)の地域支援を実施した。文化芸術分野では、創作活動を4地域7回(さいたま市1回・朝霞市4回・入間市1回・蓮田市1回)実施した。福祉機器出張展示は、県内各地域の福祉まつり等の中止により実施できなかった。

ア スポーツ分野の地域支援

主な事業	実施状況	内容	実施回数
スポーツ・レクリエーション教室	さいたま市・蕨市・吉見町・春日部市・越谷市	スポーツ指導員派遣	9回

イ 文化・芸術分野の地域支援

主な事業	実施状況	実施回数
出張福祉機器展示	実施なし	0回
創作活動	さいたま市、朝霞市、入間市、蓮田市の4市の福祉施設で開催	7回

(7) 交流事業

主な事業	開催日	参加者数(人)
納涼祭	実施なし	0

(8) その他の事業

ア 広報紙の発行

広報紙「わいわい広場」を毎月発行し(部数4,000部)、センター事業に関する情報発信に努めた。

イ 作品展示コーナー

障害者等の文化的創作活動について発表する場を提供し、活動意欲の向上を図るとともに、障害者の社会活動を広く県民に知らせることを目的として、絵画・写真等の作品を展示した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展示箇所を縮小して提供した。

ウ サークル育成支援

文化・芸術及びスポーツサークルの掲示板を設置し、多くの利用者に活動内容を紹介した。

(9) 実習生の受入れ

区分	実人数	延べ日数
社会福祉士等実習	3人	38日
ヒューマンケア体験実習(実績なし)	0人	0日
職場体験実習未来くるワーク(実績なし)	0人	0日
障害者スポーツ指導員実習	1人	21日
計	4人	59日

3 利用者等のニーズの把握及び対応

定期的なアンケートの実施、投書箱の設置、埼玉県障害者交流センター運営連絡会の開催などを通し、利用者、障害者団体及び地域住民の意向や要望を把握し、サービスの向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 改修工事等の実施

経年劣化により故障した監視カメラ一式、防火シャッター2基、調整池排水ポンプ用排水管の修繕、その他故障機器の修繕等を行った。

(2) 保守点検の実施

利用者の安全確保と良好な施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員や中央監視業務委託業者による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 防災訓練

防災に対する職員意識の高揚と、非常時に対する現実的対応を主眼に防災訓練を実施した。また、安心・安全の観点から防災設備・機器等の取扱訓練を行った。

実施日	訓練内容
4月20日	防災設備取扱訓練(総合防災監視盤、防火扉、防火シャッター)
11月16日	総合防災訓練(避難誘導・通報訓練)

(2) 危機管理体制の強化

ア 新型コロナウイルス感染症対策及び災害対策

事業継続計画(BCP)を作成し、連絡会や研修等で職員に周知するとともに、感染予防対策や緊急時の連絡訓練などを実施した。

イ 勤務状況のチェック

所長・副所長が不定期に巡回し、勤務状況や施設状態のチェックを実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

会議等、情報交換を綿密に行うとともに、職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

所長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、接遇や新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 施設外研修

オンライン研修を中心に埼玉県社会福祉協議会等の外部機関が主催する研修会へ参加させ、職員の経験年数やスキルに応じて専門性の向上に努めた。また、研修参加者から月1回の全体会議日に研修内容について報告させ、職員間での情報共有を図った。

(2) 施設内研修

「スマイル・セーフティー・スピーディ」をモットーに、常に利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう、接遇研修や手話研修、心肺蘇生法研修、救急救命講習会など、より実践を通じた研修を行い利用者支援の向上に努めた。

また、各担当内研修を実施し専門的知識の習得やスキルアップを図った。